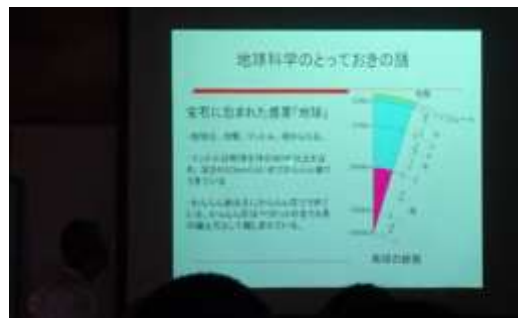
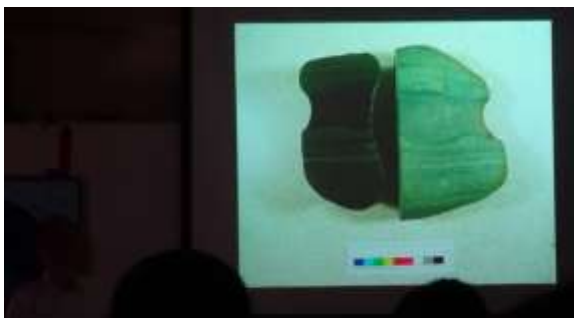


「海を渡った縄文石斧 ～岩石学の挑戦～」
前川 寛和 先生 (大阪府立大学大学院理学系研究科)

6月4日(土)に、大阪府立大学の前川先生をお招きし、「海を渡った縄文石斧 ～岩石学の挑戦～」について、講義をしていただきました。1・2年合わせて、約20人ほどの生徒が参加しました。

前川先生は、縄文石斧の中でも緑色磨製石斧について、10年近く研究されています。緑色磨製石斧は、他の緑色岩に比べ、とても硬く、粘り強さがあるそうです。なぜそのような特徴を持つのかをこの石斧が持つ鉱物組織から研究し、それに繋がる様々なことも調査しています。

泉北高校では、地学は選択授業となっています。そのため、地学に関する知識は2年生でも習いたてでそこまで詳しくありません。石斧というものが何なのか、岩石にはどのような種類があるのかなど、基礎的なことからたくさんの画像を交えながら教えていただきました。最後には、「この石斧のもつ化学組成は、宇宙における元素形成の影響を強く受けている」というお話をされ、一つの石斧から広い宇宙のことまでわかってしまうということに、生徒たちも顔を見合わせて驚いていました。何よりも、前川先生がすごく楽しそうにお話をされ、生徒たちもそれに惹きつけられ、楽しい2時間を過ごすことができました。



以下、生徒の感想抜粋。

- ・今まで岩石は地球の歴史を表しているだけだと思っていたけど、それだけではなく、宇宙の誕生とも関わっていてびっくりした。
- ・少し難しい言葉や話もあったけど、地球の構造がわかった気がする。岩石だけでなく、宇宙の話もあったので、とても興味を持った。
- ・先生がとても楽しそうに話してくれるのが印象に残った。
- ・考古学的な話かと思っていたら、すごく壮大な話だった。わかりやすくはなしていただいたので、面白かった。